

研究区分	教員特別研究推進 教育推進
------	---------------

研究テーマ	質の高い薬剤師を持続的に輩出するための薬剤師国家試験対策学修支援				
研究組織	代表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬
	研究分担者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	賀川 義之
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	石川 智久
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	橋本 博
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	黒川 洵子
		所属・職名	薬学部・教授	氏名	吉成 浩一
		所属・職名	薬学部・准教授	氏名	小西 英之
		所属・職名	薬学部・講師	氏名	岩本 憲人
		所属・職名	薬学部・助教	氏名	山口 深雪
	発表者	所属・職名	薬学部・教授	氏名	眞鍋 敬

講演題目	質の高い薬剤師を持続的に輩出するための薬剤師国家試験対策学修支援
研究の目的、成果及び今後の展望	<p>医療がますます高度化し多様化している現在において、社会が薬剤師に求めるレベルが高まっており、われわれ薬学部もそれに応じて教育改善を継続しなければならない。また卒業生の薬剤師国家試験の高い合格率を維持することは、静岡県における医療体制の充実等の社会ニーズに対して本学薬学部が貢献するための、最低限の責務である。そこで本研究では、薬剤師国家試験の高い合格率を維持するための教育体制の充実、教育環境の改善を行うとともに、薬剤師に求められる「知識・技能・態度」の醸成を実現することを目的として以下の内容を実行した。</p> <p>(1) 実力試験・模擬試験の実施・・・6年生に対して国家試験担当教員による国家試験ガイダンスを7月に行い、実力試験を実施し、学力の把握および弱点分野の抽出を行った。さらに、9、12、1月に全国統一模擬試験を実施し、学力の増強を図った。本模試は当該年の全国の受験予定者のほとんど（特に新卒者）が受験するものであるため、その後の学習計画に大いに参考になった。さらに、より下位学年からの意識改革と啓発を目的として、3月に5年生に対してもスタートアップ模擬試験を実施した。</p> <p>(2) 講義の実施・・・上記実力試験の解説終了後、弱点を中心に、9月から12月にかけて、本学薬学部教員による対策講義を週2日程度のペースで行った。さらに、学外講師による国家試験対策に特化した特別講義を12～2月に開催した。また学生の利便性を勘案して、オンラインによる講義も積極的に活用した。</p> <p>(3) 個別指導の実施・・・模擬試験等の結果、ならびに教員による国家試験対策講義の実施により、本学部学生の学修レベルおよび苦手分野を把握し、成績不良者に対しての個別指導を実施した。</p>